

会 議 名	第1回港区立生涯学習施設指定管理者候補者選考委員会
開 催 日 時	令和5年2月2日（木） 13時30分から14時30分まで
開 催 場 所	区役所7階 教育委員会室（Teamsによるオンライン会議）
委 員	出席者 7名 岩崎委員長、星川副委員長、伊藤委員、渋谷委員、末松委員、小野口委員、矢ノ目委員 欠席者 なし
事 務 局	教育委員会事務局教育推進部生涯学習スポーツ振興課長 竹村 教育委員会事務局教育推進部生涯学習スポーツ振興課生涯学習係長 森 教育委員会事務局教育推進部生涯学習スポーツ振興課生涯学習係 片平
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	1 開会 2 委員委嘱 3 委員紹介 4 委員長・副委員長選出 5 議題 議題1 公募要項（案）について 議題2 第1次及び第2次選考基準（案）について 6 今後のスケジュール 7 閉会
配布資料	資料1 公募要項（案） 資料1－2 公募要項（案）【別紙集】 資料2 第一次審査選考基準・採点表（案） 資料3 第二次審査選考基準・採点表（案） 資料4 今後のスケジュール 参考資料1 港区立生涯学習施設指定管理者候補者選考委員会設置要綱 参考資料2 委員名簿 参考資料3 港区立生涯学習施設事業概要・パンフレット 参考資料4 施設条例、要綱、その他
会議の結果及び主要な発言	
	1 開会 （事務局の進行により開会） 2 委員委嘱 （委嘱状の交付） 3 委員紹介

	(各委員から自己紹介) 4 委員長・副委員長選出 互選により委員長を選出。港区立生涯学習施設指定管理者候補者選考委員会設置要綱第5条第3項に基づき、副委員長を選任。 5 議題 議題1 公募要項(案)について 議題2 第1次及び第2次選考基準(案)について (事務局から資料1、資料1-2、資料2及び資料3について、相互に関連する事項のため、一括して説明)
委員長	事務局からの説明について、ご意見、ご質問はありますか。
委員3	第一次審査表の項番1の類似施設における「公民館」の位置づけについて、確認させてください。
事務局	東京都が発行している「区市町村生涯学習・社会教育行政データブック」において、社会教育施設を「公民館」、「社会教育会館」、「青少年施設」、「図書館」、「博物館(相当施設を含む)」、「博物館類似施設」、「女性対象／男女平等推進施設」、「生涯学習センター」、「その他の施設」と分類しています。そのうち、今回類似施設として採点対象とするのは、「社会教育会館」及び「生涯学習センター」とします。区民センター等の公民館施設については、例えば相談機能等の生涯学習施設としての機能を有さないとして、複数以上の施設の記載があっても1点とします。
委員3	公民館は社会教育施設に該当しないという取り扱いなののでしょうか。
事務局	失礼いたしました。公民館は社会教育施設であり、類似施設として対象です。 区民センター等のコミュニティ施設の場合は、生涯学習施設及び社会教育施設の機能を有していないとして、対象外としたいと考えております。
委員長	事務局は、公民館というよりも、区民センターという意味合いで言及しているという認識でしょうか。
事務局	先ほどの事務局の説明について、少し訂正いたします。 「社会教育会館」及び「生涯学習センター」に該当しなくても、事務局で調査し、実態として生涯学習施設としての機能を有していれば、加点対象としたいと思えます。また、事務局採点の結果については、第2回選考委員会の第1次審査の際に、改めて御相談させていただきたいと思えます。
委員長	その他になにかございますか。
委員5	公募要項16ページに公募の日程の記載がありますが、申請を受け付けた後の公認

	会計士による財務分析については、第２回選考委員会の前に結果が委員に共有されるのでしょうか。
事務局	財務分析の結果は、第２回選考委員会の際に結果を提示させていただきます。
委員５	その結果が一定基準に満たない事業者を落選させるかどうかは、第２回選考委員会の際に選考委員会で決定するということでしょうか。 また、選考委員としては、第２回選考委員会までに採点を終えておくということでしょうか。
事務局	委員による書類審査の採点と公認会計士による財務分析を同時に実施していることから、審査をしていただく際にはお知らせできないかと思います。第２回選考委員会で各委員の採点結果を持ち寄る際に報告させていただきます。
委員長	ほかにございますでしょうか。 前回の選考から変更した点はどちらになるのでしょうか。
事務局	選考基準を一部変更したことに伴い、採点表の形式・提出書類が一部変更になっています。今回は、資料２の項番５（６）から（８）を中心に変更をしています。
委員長	この点も含め、修正のご意見等はいかがですか。
委員４	特にＩＣＴ技術など時代に応じた内容や、認知度向上等の課題に応じた部分が加わった内容になっていると思います。事務局採点についても了解しました。
委員長	その他に、ご意見等はいかがでしょう。
全員	— 意見なし —
委員長	それでは、修正事項なしということで、原案どおりとさせていただきます。 その他、事務局から何かありますか。
事務局	選考にあたり、選考の目安を決定する必要があります。第１次審査、第２次審査それぞれの最低基準となる得点率はどのくらいにしましょうか。なお、応募事業者が１者のみであった場合にも、審査は実施します。
委員２	第１次審査、第２次審査それぞれの得点で、６０％とするのはいかがでしょうか。
委員長	皆さん、ご異議はないでしょうか。
全員	— 異議なし —
委員長	それでは、第１次審査、第２次審査それぞれ、満点の６０％といたします。

	本日の意見を踏まえ、事務局には2月20日の公募開始に向け、作業を進めていた だきたいと思います。
事務局	6 今後のスケジュール (資料4について説明)
委員長	まず、事務局から説明がありましたとおり、6月13日の第2回選考委員会、6月 27日の第3回選考委員会の開始時間を、午前10時からとしてよろしいでしょう か。
全員	— 異議なし —
委員長	それでは、それぞれの開始時間を午前10時からとさせていただきます。 その他、何か質問はありますか。
委員5	今後のスケジュールとしては、事務局からの連絡を待てばいいでしょうか。
事務局	そのとおりです。 5月26日に申請期限となりますので、その後各事業者の書類をデータ及び書類で 送付します。 また、第1次審査の採点表についてはデータでお送りしますので、データをメール でお送りいただき、6月7日までにご提出をお願いします。
委員5	この時期が学会等の関係で、大学内の郵便物の到着が遅れる可能性がありますの で、念のため確認させていただきました。ありがとうございます。 また、会議時間はどの程度を見込めばいいでしょうか。
事務局	第2回選考委員会は1時間程度、第3回選考委員会は業者からのプレゼンテーショ ンを受けますので2時間程度の予定です。
委員長	その他、スケジュールについては、よろしいでしょうか。 — 異議なし —
委員長	それでは、資料4のと通りのスケジュールで、今後進めさせていただきます。
委員長	7 閉会 その他、何かございますでしょうか。 — 発言なし —
委員長	それでは、第1回港区立生涯学習施設指定管理者候補者選考委員会を閉会します。

会 議 名	第2回港区立生涯学習施設指定管理者候補者選考委員会
開 催 日 時	令和5年6月13日（火） 10時00分から11時50分まで
開 催 場 所	T e a m s によるオンライン会議
委 員	出席者 7名 岩崎委員長、長谷川副委員長、伊藤委員、渋谷委員、末松委員、 齊藤委員、西本委員 欠席者 なし
事 務 局	教育委員会事務局教育推進部生涯学習スポーツ振興課長 竹村 教育委員会事務局教育推進部生涯学習スポーツ振興課生涯学習係長 森 教育委員会事務局教育推進部生涯学習スポーツ振興課生涯学習係 阿部
そ の 他	坂本亮公認会計士事務所 坂本 亮 公認会計士
会 議 次 第	1 開会 人事異動に伴う選考委員の変更について 2 報告 財務状況等分析結果について 3 議題 (1) 第一次審査通過事業者の決定について (2) 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）について 4 今後のスケジュール 5 閉会
配布資料	資料1 財務状況調査・分析報告書 資料2 資金計画調査・分析報告書 資料3 第一次審査集計結果 資料4 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）の方法について 資料4別紙 第二次審査選考基準・採点表 参考資料1 港区立生涯学習施設指定管理者候補者選考委員会委員名簿 参考資料2 港区立生涯学習施設指定管理者候補者選考委員会設置要綱 参考資料3 第1回港区立生涯学習施設指定管理者候補者選考委員会会議録
会議の結果及び主要な発言	
	1 開会 (委員長の進行により開会) (事務局から委員の変更について説明、新委員挨拶)

	2 報告 財務状況等分析結果について （公認会計士から資料1、資料2について報告） 財務状況等分析 A事業者 総合評価「可」 資金計画分析 A事業者 総合評価「A」
委員長	本報告について、質問はありますか。
委員2	資金収支計画について、全体の経費から見たときにその他経費の割合が低いように感じますが、妥当性についていかがでしょうか。
公認会計士	非営利企業ということもあり、あまり利益を多くとっていない印象はあります。A事業者の経営方針が資金収支計画に織り込まれているように感じています。
委員2	資金収支計画書に記載のある人件費の年度ごとの上昇について、妥当性はいかがでしょうか。
公認会計士	昇給率が妥当であるかについては、将来のことで申し上げにくいのですが、定期昇給については、資金収支計画に見込んでいない事業者のほうが少ないと思います。
委員長	ほかに質問はありますか。
	— 質問なし —
	（公認会計士、退室）
	3 議題 議題1 第一次審査通過事業者の決定について （事務局から事務局採点について説明）
委員長	事務局採点について、何かご意見はありますか。
	— 異議なし —
委員長	事務局採点について、承認します。 それでは、A事業者が第一次審査通過事業者として適格性を有しているか、審議をします。それぞれが評価したポイント等について講評をお願いします。
委員3	3（6）施設の予防保全、5（12）生涯学習推進計画との関連について、具体性に欠けていたため、低く採点をしました。 1点質問をします。様式10資金収支計画書に記載のある指定管理料が、実績に比べて大きく上回っていますが、上限額等は設けていないのでしょうか。

事務局	上限額は設けていません。予算編成時に提案された収支計画書の金額を上限として、正式な指定管理料を決定します。
委員 4	私は評価の視点を満たしていれば、5をつける採点をしたので少し高めの採点になっています。生涯学習に関する事業運営は、既存の企画で従来どおりであることや、デジタルの活用に課題を感じたため、低めに採点をしています。 3（1）管理運営体制に関しては、設置目的に応じた適切な施設運営方針、人材配置が示されており、施設長予定者の実績からも着実な運営が想定できると感じました。
委員 5	私は、3（5）保守管理や3（6）施設の予防保全に対する考え方について、低く評価をしました。保守管理について、どのようにしてリスクを把握し、事前に対策をしていくのかをもう少し具体的に書いて欲しかったと感じます。施設の予防保全に関しても、日常的な事前の対応についての方策が不足していると感じました。 その他の部分では、社会教育施設として、無理のない範囲でデジタルでの情報発信を取り入れていると評価しました。5（12）自主事業計画についても、新しいニーズを発掘する意識が高いと感じ、高めに評価をしました。6（3）高齢者、障害者の雇用促進の考え方については、雇用促進の意識はみられるものの、持続可能性を考えるとより専門的な支援が必要になると感じ、第二次審査で聞いてみたいと思いました。 また、5（5）生涯学習における指導者・団体等の育成、研修及び交流に関する具体的な提案における「語り部事業」でのメンバーへのインタビューに基づく情報のアーカイブ化や積極的な取組への意識や、5（6）事業におけるICTの活用に関する具体的な提案でのハイブリット方式の講座運営、講座のデジタル・アーカイブ化などの工夫を評価しました。
委員 2	3（1）管理運営体制の中の施設運営に対する考え方の記述が不十分に感じました。一方で、職員体制に関しては妥当であると判断をしたので、点数は3点を付けました。 全体を通した印象として、既存の事業に関しては、持続可能性が高いと感じましたが、新たな取組という視点では、将来の発展性が低いと感じました。
委員 7	3（4）環境に配慮した施設の取組に関しては、区の政策を加味した上で提案をしていると評価しました。4（2）地震・防災等、危機管理への取組についても、連絡体制が確立されている点と各種防災訓練を通し、地域とともに万全な体制がとれるように取り組むということを記載していた点を高く評価しました。一方で、4（1）個人情報保護については、本年4月1日に施行された改正個人情報保護法の観点に記載されておらず、過年度の複写だと考えられたため、低く評価をしました。 5（8）認知度及び利用率向上のための取組における認知度の向上について、SNSなどの情報発信だけでなく、地域に出てPRしていく姿勢が評価できると感じました。

委員 6	施設運営を任せる点については特に不安を感じませんでした。3（6）施設の予防保全について、具体性に欠けると感じたため、低く評価しました。5（1）生涯学習に関する情報の収集及び提供並びに相談に関する具体的な提案に関して、具体性がなかったため、低く評価しました。4（2）地震・防災等、危機管理への取組に関しては、具体的な地域との連携を明記している点が高く評価できると感じました。
委員長	運営を任せることについては問題がないと判断しましたが、施設を現状より、よりよくしていくための提案をしていただきたいと感じ、評価をしました。 生涯学習センターの施設長予定者は、区内の様々な施設を経験しており、経験値が期待できるとともに、区内の町会・自治会、商店街、企業、大学、登録団体等の円滑な連携が取れると感じました。 それでは、点数に差がある項目について、改めて丁寧に議論をします。 5（1）生涯学習に関する情報の収集及び提供並びに相談に関する具体的な提案について意見ををお願いします。
委員 6	SNS等のツールの説明はあるものの、そのツールを活用して何をするのかについての言及がなかったため、低く評価しました。
委員長	この点について、第二次審査で説明を求めることはできますか。
事務局	可能です。その点に関しても、後ほどご審議をお願いします。
委員長	それでは、後ほど審議します。末松委員、ご意見いかがでしょうか。
委員 5	先ほども申しましたが、社会教育施設としては十分な提案だと感じました。特に青山ギャラリーという具体的な場づくりの提案の意識を評価しています。また、紙媒体やデジタル化への対応など、発信力や素早い対応が意識されていると感じました。
委員長	ありがとうございます。続いて、5（12）自主事業計画について意見ををお願いします。
委員 3	施設の設置目的、港区生涯学習推進計画をどのように理解し、どう対応していくのかという点について、具体性がなかったため低く評価しました。
委員 5	新たなニーズの発掘や、新規企画への意欲を感じたので、高く評価しました。その部分の意欲の有無が、サービス提供の差を見出すと感じています。
委員長	ありがとうございます。その他、ご意見はありますか。
— 意見なし —	

委員長	ないようであれば、保守管理、設備機器管理、清掃等に関する予防保全の具体的な提案、施設の予防保全に対する具体的な提案、個人情報保護に関する方針の具体的な定め方、SNS等を活用して情報発信した後、どのように利用者を増やしていくかの提案、新たなニーズの発掘及び自主事業の新規計画の提案、高齢者、障害者の雇用後に事業者が講じる対応及び定着のための取組について、第二次審査においてより具体的な提案を求めるということによろしいでしょうか。 — 異議なし —
委員長	それでは、事務局はそうに対応をお願いします。 自身の採点について見直しの時間を設けます。 (再集計)
委員長	第一次審査については、1, 400点満点中1, 015点です。A事業者は6割を超えているため、第二次審査に進むということになりますが、よろしいでしょうか。 — 異議なし —
委員長	それでは、第二次審査に進む事業者をA事業者に決定します。 議題2 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）について 事務局から第二次審査について説明 計画書類の様式14管理運営計画に関する書類のうち、運営組織の構造の記載がなかったため、組織構造図（組織体系図）を追加資料として依頼することのほか、プレゼンテーションの概要資料（A3一枚・片面）を用意することと、議題1の審議の中で、より具体的な提案を記載した資料を求める。
委員長	何か意見はありますか。
委員2	プレゼンテーション10分、ヒアリング20分ということですが、選考委員が7名いるため、ヒアリング時間を長めにとって、30分にするのはいかがでしょうか。
委員長	ヒアリング時間を30分にするという提案について、何か意見はありますか。 — 異議なし —
委員長	では、ヒアリング時間を30分とします。 ほかに意見はありますか。

	— 意見なし —
委員長	では、第二次審査については、以上のとおり決定します。
	4 今後のスケジュール (事務局から今後のスケジュールについて説明)
委員長	その他、スケジュールについては、よろしいでしょうか。
	— 意見なし —
委員長	それでは、資料4のと通りのスケジュールで、今後進めさせていただきます。
	5 閉会
委員長	その他、何かございますでしょうか。
	— 意見なし —
委員長	それでは、第2回港区立生涯学習施設指定管理者候補者選考委員会を閉会します。

会 議 名	第 3 回港区立生涯学習施設指定管理者候補者選考委員会
開 催 日 時	令和 5 年 6 月 2 7 日（火） 1 0 時 0 0 分から 1 1 時 3 0 分まで
開 催 場 所	区役所 7 階 教育委員会室
委 員	出席者 7 名 岩崎委員長、長谷川副委員長、伊藤委員、渋谷委員、末松委員、 齊藤委員、西本委員 欠席者 なし
事 務 局	教育委員会事務局教育推進部生涯学習スポーツ振興課長 竹村 教育委員会事務局教育推進部生涯学習スポーツ振興課生涯学習係長 森 教育委員会事務局教育推進部生涯学習スポーツ振興課生涯学習係 武井、若松
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	1 開会 2 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）方法について 3 第二次審査 事業者によるプレゼンテーション及びヒアリング 4 採点及び指定管理者候補者の選定について 5 その他 6 閉会
配布資料	資料 1 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）方法について 資料 2 第二次審査選考基準・採点表（A 事業者） 資料 3 第一次審査集計結果 資料 4 第二次審査集計結果（※採点終了後、机上配布） 参考資料 第 2 回選考委員会議事録概要
会議の結果及び主要な発言	
委員長	1 開会 （委員長の進行により開会） 2 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）方法について （事務局から第二次審査について説明） 3 第二次審査 事業者によるプレゼンテーション及びヒアリング （A 事業者のプレゼンテーション・1 0 分間） それではヒアリングを 3 0 分間、行います。 委員の皆さん、何か御質問はありますでしょうか。

委員 5	保守管理、施設の予防保全についてお尋ねします。 目視での点検には限界があると思いますが、その他の方法として、どのようなことを想定されていますか。また、優先順位についてはどのようにお考えですか。 もう 1 点、高齢者、障害者の雇用促進の考え方について、採用後の周囲の理解が重要かと思いますが、どのように啓蒙等をするか教えてください。
A 事業者	まず、保守管理、施設の予防保全について回答します。 目視につきましては、1 日 3 回チェックシートを利用し、職員が点検を行います。保守管理を行う業者とも連携し、小さな不具合についても共有するとともに、保守点検等必要な判断をしております。判断ができない場合は、区内事業者とのつながりを生かし、すぐに点検に来ていただきます。 また、優先順位という点では、業者からの報告書を確認した上で、所管と連携し、点検や修繕の優先順位を決めます。天井の LED 等、一度で全ての修繕等を行うことが難しい場合については、優先する箇所を決めてから、年度の計画を立てます。 最後に、障害者、高齢者の雇用については、それぞれ個別の対応が必要と考えています。業務の範囲の中で無理なく働いていただく工夫として、情報共有を行う予定です。
委員 4	現在、生涯学習施設の事業に参加していない区民や、見えていない地域の課題にどのように答えるのか、事業計画について教えてください。
A 事業者	現在参加できていない方に参加していただくため、場所を選ばず参加できるオンライン事業の取組を検討しています。SNS を活用し、現在情報の届きにくい層に対しても広報を行い、情報が届くよう工夫をします。 見えない地域課題に関しては、具体的に、今年度は「防災」をテーマにし、横同士の交流をもっていただくとともに、生活の中の防災について考えることで、学びをきっかけとして、地域の新しい繋がりをつくりたいと考えています。他にも、リスクリングに焦点をあてていきたいと考えています。利用の少ない 30 代から 40 代に興味を持ってもらえるよう、工夫を行ってまいります。
委員 3	住民参加の仕組みについてはどのように考えていますか。
A 事業者	区民の方が自ら集まり企画をして、講師の方を呼び、自分たちの興味のあることを学ぶ「さくらだ学校」という事業では、桜田小学校の名前を受け継いでいることもあり、地域に根付き、住民参加が実現しています。しかしながら、新規での参加が少ないという課題があるため、次世代に向けた工夫を、考えて今後取り組もうと思っています。
委員 6	港区生涯学習推進計画でのアンケートで生涯学習施設の利用意向が 2 施設合計で 16.5% と低い数字となっています。これまでの運営実績の中で SNS を活用して利用率が向上した成功事例や、今後考えていることをお聞かせください。 また、区民センターと生涯学習施設の違いをどのように区民に説明するのか教

	えてください。
A事業者	まずSNSについては、インスタグラムとツイッターを運用します。インスタグラムでは、部屋の写真や事業の様子をの写真を投稿する予定です。ツイッターでは、職員の個性も生かしながら曜日ごとに投稿し、地元の情報を交えたいと考えています。成功事例としましては、生涯学習センターにいる地域猫の写真を撮って、SNSに掲載した方の投稿をみて、生涯学習センターの存在を知ったという方から意見を頂戴したことがありました。今後も、好きなユーザーが集まっているものを探り、生涯学習施設があるということを伝えていきたいと考えています。 続いて、区民センターと生涯学習施設の違いについてお答えします。 区民センターはエリアの中の繋がりを考えることが最優先であると認識します。一方、この生涯学習施設は、学びをきっかけとした世代間の繋がりを優先する事業を展開しており、ここに大きな違いがあると考えております。
委員7	地域の連絡会議に直接出向くことと、施設を守るという2点の両立についてどのように考えていますか。また、新たな自主事業の計画について、どのような課題意識を持ってこの計画を考えたか教えてください。
A事業者	施設の安全については、職員の共有が何よりも大事だと考えています。地域との連携事業に携わる職員が安心して出ていけるよう、情報共有を常に心がけていきます。 新たな自主事業の計画についての課題は、生涯学習センターにおける月曜日と金曜日の午前中の利用率の低さが挙げられます。この時間を活用し、今後新しく利用者となり得る小・中学生を対象にした事業を長期休暇中に行う予定です。 また、青山生涯学習館では、赤坂地区でのペットの飼育率が高いことから、地域の動物病院と連携して、楽しく学べる生き物講座を計画いたしました。 その他、昨年度実施した児童相談所の子どもに対する読み聞かせが好評だったことから、来年度は、近隣の保育園、幼稚園、あいぽーとの子どもたちに向けて読み聞かせを実施します。
委員2	生涯学習センターと青山生涯学習館の2つの施設で、それぞれが抱えている課題は何か教えてください。
A事業者	まず、生涯学習センターでは、学習室の利用率は高いのですが、会議を目的とした利用が多く、区民の団体の利用を促進したいという課題があります。また、利用団体登録をしている方のうち、60代の方が64%と多く、子育て世代の30代から40代の方の利用が少ないという点も課題であると考えています。 青山生涯学習館では、利用団体の高齢化が理由による団体の解散が多いこと等により、利用率が低迷した時期もありましたが、現在は、長期休暇期間に親子で参加できる講座を開催したり、在勤者に向けて、夜間に事業を開催する事業を拡張したりすることで改善をしています。 また音楽を使用することができない部屋が多い点を改善することで、未就学児へのリトミック等の用途で、近隣の住民に利用してもらえれば、利用率はもっと

	もっと上がるのではないかと考えております。
委員 2	両施設とも、現在利用の少ない層に利用を呼び掛けるという点が課題として共通していますが、SNSを活用した情報発信で現在利用の少ない層に届くのか不安がありますが、いかがでしょうか。
A事業者	実際に小・中学生の保護者に御意見を伺ったところ、インターネットを利用し、気になるワードを検索することで情報を収集していることが多いということがわかりました。SNSと連動し、常にホームページの情報を更新し、検索性の高い言葉を入れることで対応が可能であると考えています。手軽にわかりやすい言葉を使うということを特に力を入れて、ホームページやSNS等でも活用していきたいと考えております。
委員長	住民同士の対話の場づくりについてどのようにお考えですか。 また、新たな発想やイノベーションを起こす観点を得るために、実施している研修等があれば教えてください。 最後に、安全管理は、時間や役割を決めて、全員が共有して改善していくことをルーティンとして行うことが重要かと思いますが、そのような取組に対する意識はありますか。
A事業者	まず区民同士の交流という点では、生涯学習センターでの社会教育関係団体の交流が挙げられます。
	～30分経過、ヒアリング終了～
委員長	ありがとうございました。A事業者は、御退出ください。
事務局	4 採点及び指定管理者候補者の選定について 集計結果は、700点満点中495点で、6割の420点を超えています。第一次審査の1,015点と合わせて、合計で1,510点となります。
委員長	集計の結果、700点満点の6割、420点を超えているので、A事業者を生涯学習施設指定管理者候補者として選考してよろしいでしょうか。 各委員から御意見はありますか。
委員 2	第一次審査の中では、具体性に欠けていた提案について、プレゼンテーションの中で具体的に示されていた点、また施設長予定者の方が、答えづらいような質問に対しても、明確に答えていただき、指定管理業務に対する熱意というものを感じられましたので、全体的に高い評価としています。
委員 7	ヒアリングを実施したことで、施設利用に関する課題をよく把握しているという印象を受けました。小・中学生を将来の利用者という視点でとらえていた点もよかったです。

	将来的にも、安定的に運営をしていくためのビジョンを持ちつつ、生涯学習センター及び青山生涯学習館の運営に当たってこういう事業者の意欲を感じ、採点をしました。
委員 6	ヒアリングの結果、経験も含めて指定管理者候補者として選考することは、全く問題ないと判断し、全ての項目で合格点以上をつけています。 生涯学習施設と区民センターとの違いについて、区民センターは地域を対象としている点を違いと説明した点が残念に感じました。
委員 3	経験があるから具体的にいえることがとても多かったと感じました。 「お客様」というような表現が多かった点が気になりました。区民が運営に絡み、試行錯誤しながらつくり上げていくプロセスを大事にできる余裕があってもいいと思いました。
委員 4	事業をよく把握されていて、的確に回答をいただいたという印象を受けました。運営に関してはあまり問題を感じず、点数も高くつけております。 ただ、生涯学習の考え方の基本的な部分が多くあまり感じられず、また、年代だけではなく多様な区民への配慮という点でも、新しい視点や企画があるとよいのかなと考えて評価をしました。
委員 5	施設の安全・安心について不安がありましたが、外部の業者と連携して定期的な保守管理への意識が確認できたということで、基準に達したという判断をしました。 高齢者、障害者については、自分たちでどうにかというような印象を受けたので、専門的な意見を取り入れたほうがいいと感じました。 施設の課題認識については、抽象的な印象を受けました。サービスとして区民が受動的に参加するのではなく、区民とともに、一緒に考えていく姿勢があるとよいと思いました。 新橋地域と青山地域のそれぞれの地域特性を踏まえた上での多世代に向けた事業計画の工夫や、新たな事業企画への工夫は評価できると感じました。
委員長	現在の施設の実態を把握している点は評価できると感じました。 施設の予防保全に関しては、命に関わるような業務の危機管理体制を参考に、安全・安心の働きかけを徹底してもらいたいと感じ、低く点数を付けました。 他の委員の意見同様、サービスを提供することに終始し、学習のプログラムを地域で作っていくという視点が欠けている印象を受けました。 生涯学習施設として、区民同士はまだ力がない場合はやはり対話の場をつくるというところから始めるべきだと思いますが、プログラムが先行していて、区民を参画させていくというような働きかけが欠けていると感じました。 今後は、教育委員会の方で地域の間づくりを推奨するなどの指導体制を整備し、働きかけていくことが重要と感じました。
委員長	他に御意見はありますか。

委員長	— 意見なし — ないようであれば、A事業者を指定管理者候補者として選考します。 — 異議なし — 5 その他 (事務局から今後のスケジュールについて説明)
委員長	6 閉会 その他、何かございますでしょうか。 — 意見なし —
委員長	それでは、第3回港区立生涯学習施設指定管理者候補者選考委員会を閉会します。